

## 2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 25日
研究・研修課題名	2021年度の周術期管理チーム臨床工学技士申請に必要なe-learning受講
研究・研修組織名(所属)	MEセンター
研究・研修責任者名(所属)	長谷川 竜馬
研究・研修実施者名(所属)	長谷川 竜馬

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( )
該当者名(所属)	長谷川 竜馬 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	周術期管理チーム臨床工学技士
演題名・認証交付元等	公益社団法人 日本麻酔科学会
取得日・認定期間等	2020.10.16
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

**目的及び方法、成果の内容****①目的**

周術期医療を安全なものとし、質の高い医療を提供するためには従来の診療環境では、医療機器の複雑化、高度化など様々な困難がある。この周術期医療の質の向上には多職種連携を築くことが最も重要であり、日本麻酔科学会では多職種連携の診療環境整備を推進する為に「周術期管理チーム臨床工学技士」の認定が行われている。周術期に使用される医療機器と手術室の電気・ガス設備等に精通した臨床工学技士が専門知識の向上、質の高い医療の提供と安全確保に寄与する事を目的とする。

**②方法**

2017年度から現在も受講可能な  
e-learning 周術期管理チームセミナーを10講義受講する

**③成果**

周術期にて医療機器が煩雑化している中で、周術期管理チーム臨床工学技士がいることにより、医療機器の専門家立場から周術期に関わるスタッフの質的・量的不足を補うことが可能だと考えた。周術期管理チーム臨床工学技士が様々な側面から診療補助を行う事で診療安全性が高まり、患者にとってより良い医療の提供も可能になると考えた。

また、周術期管理チームは診療報酬制度における「チーム医療・周術期管理チーム加算[案]」を目指しており、この案が認可された際に周術期管理チーム臨床工学技士が加算案件となりうる事が大きいと考えられ、インセンティブを獲得する事につながると考える。